

X 職員参画

(1) 参加者(所属は参加当時)

| 所属 | 氏名 | 所属 | 氏名 |
|--------------|--------|---------------|--------|
| 共生共創部デジタル戦略課 | 岸 拓海 | こどもみらい部こども支援課 | 岡本 直樹 |
| 共生共創部秘書課 | 加藤 万理子 | 環境部環境センター | 野村 心平※ |
| 共生共創部文化課 | 里原 茉以子 | まちづくり計画部都市計画課 | 水谷 司 |
| 総務部財政課 | 溝呂木 直人 | まちづくり計画部都市計画課 | 大森 颯 |
| 総務部公的不動産活用課 | 齋藤 清香 | 都市景観部都市景観課 | 藤本 まゆ※ |
| 総務部公的不動産活用課 | 田邊 怜 | 都市景観部みどり公園課 | 原 彬 |
| 総務部資産税課 | 伊藤 姫華 | 都市整備部都市整備総務課 | 工藤 祐作 |
| 総務部市民税課 | 中立 成美 | 都市整備部道路課 | 鈴木 亮平 |

※ 市民ワークショップの運営に参加した者

(2) 結果

ア 第1回目

令和6年(2024年)4月19日(金)午後3時30分から4時まで
総合計画に関するインプット

イ 第2回目

令和6年(2024年)4月26日(金)午前10時から11時まで

図表 X-(2)-イ-① 職員ワークショップ2回目の結果(1)

わたしたちが描く 미래の鎌倉 #職員 第2回

2 テーマ1のまとめ

かまぐら『「いいね」と思うところ(強いところ) / 「もう少し」と思うところ(弱いところ)』は?

※()内は得票数

<「いいね」と思うところ(強いところ)>

| | |
|------|--|
| 自然 | 山と海があり自然豊か(1)、時の流れがゆっくり・おだやかになれる等 |
| 観光 | 鎌倉ファンが多い(2)、歴史文化(1)、外人からも人気・ブランド力がある(1)等 |
| 文化 | 文化財(1)、歴史を感じられる等 |
| 生活環境 | ICT教育(1)、市民の帰属意識の高さ、住宅地は静か、都心へのアクセス、景観のよさ等 |
| 共生社会 | かまぐらに対する興味・関心が高い(1)、市民が活動的・アクティブ(1)、鎌倉市民としての誇りをもっている(1)等 |
| 交通 | 江ノ電とモノレールにブランド力ある |

<「もう少し」と思うところ(弱いところ)>

| | |
|------|--|
| 自然 | 災害、風化、キケンなガケ等 |
| 観光 | 電車混んでる(オーバーツーリズム)、観光客多いのに収益少ない、日帰り客が多い・宿少ない(宿が作れない?)等 |
| 文化 | 保存に金かかる、風致地区など制限多い等 |
| 生活環境 | 新しいコトへの許容度の低さ(2)、夜が閑散としている(1)、災害時の分断(1)、大型商業施設の少なさ(1)等 |
| 共生社会 | デジタル化の遅れ(1)、高齢化、行政に対して固定観念がある等 |
| 交通 | 渋滞(1)、市内の移動不便(1)、道路が狭い等 |
| 土地 | 土地利用の制限多(1)、使える土地が少ない(1) |
| 財政 | 法人税少ない、施設の老朽化等 |

2

図表 X-(2)-イ-② 職員ワークショップ2回目の結果(2)

わたしたちが描く 未来の鎌倉 #職員 第2回

3 テーマ2のまとめ

かまぐら『キャッチフレーズ』は?

- ・「全ての人々が愛着を持ち挑戦し続けるまち」(3)
- ・「観光と生活の共存」(2)
- ・「文化と自然を守りながら、皆が歴史を育む未来へ」(2)
- ・「心の安らぎと生活を守るまち」(1)
- ・「変化しないために変化する」(0)
- ・「誰も負けない街」(0)

※()内は得票数

3

ウ 第3回目

令和6年(2024年)6月18日(火)午前10時から11時まで

図表 X-(2)-ウ-① 職員ワークショップ3回目の結果(1)

わたしたちが描く 미래の鎌倉 #職員 第3回

2 テーマ1のまとめ

10年後のかまくらに必要なこと、もの(大事にしたいこと、もの)は?

グループA

| | |
|------------|---|
| 財源の確保 | 子ども、少子高齢化、大きい企業に来てもらう、収入源、不必要な事業をやめる |
| 行政サービスの効率化 | 生存戦略、デジタル化 |
| 防災・減災 | 災害、防災・減災、せまい道路 |
| 観光・交通 | 緑を守る、残すものと壊すもの、歴史的なまちなみを守る、施設、観光(歴史、スラダン etc.)、オーバーツーリズム、市内交通、交通不便(住みやすいか?) |

グループB

| 鎌倉を!!もっと住みやすくする! | |
|------------------|---|
| もっと!住み たくなる | 生活用品の調達先、住みたくなる環境づくり、地域の個性を高める(大船、鎌倉、深沢)、観光客も住民も居心地のよい(住んでいる人、観光にくる人)、住みやすい環境づくり(子ども、大人になっても住みつけたいまちをつくる) |
| もっと!人と 自然を守る | 安全と安心(人と環境、共存) |
| もっと!学び たくなる | 学びの場、歴史の継承、文化資源を守る |
| もっと!働き やすくなる | 働きやすい環境づくり、労働力、移動の足(交通) |

グループC

| | |
|----------------|---|
| 自然を未来につなげる | 緑の維持管理、自然 |
| にぎわいのある空間をつくる | にぎわいのある広場、多世代での交流、子育て世代を増やす |
| みんなが移動しやすい街にする | 交通、インフラ、市内の移動性を高める、住民と観光客の関係性を良くする、移動手段・交通手段、観光 |

2

図表 X-(2)-ウ-② 職員ワークショップ3回目の結果(2)

わたしたちが描く 未来の鎌倉 #職員 第3回

3 テーマ2のまとめ

10年後、どんなかまくらになってほしい?(こんなかまくらにしたい!)

- ・「生きがいを持ちつづけられる町」(9)
- ・「市民と観光客がお互いを尊重できるまち」(8)
- ・「居心地良く暮らせる町」(7)
- ・「みんなが知り合いになれる街」(7)
- ・「暮らしとまちなみを守るまち」(4)
- ・「みんなが会いにいける街」(4)
- ・「100年先も持続可能な町」(3)

3

エ 第4回目及び5回目

令和6年（2024年）7月23日（火）午前10時から11時まで

7月30日（火）午前10時から11時まで

図表 X-(2)-エ-① 職員ワークショップ4回目・5回目の結果(1)

わたしたちが描く 미래の鎌倉 #職員 第4回

2

テーマ1のまとめ

5年後に向けてこんな施策に取り組んでほしい、取り組みたい

| | | | |
|-----------------------|--|----------------|---|
| 文化と 生涯学習 (歴史環境) | 伝統文化のなり手（後継者）の確保、文化財収蔵庫の拡充が必要、学芸員（専門職）の不足 | 市民自治 | 地域のつながり・見守り 等 |
| 観光 | 鎌倉に来たいという人たちを惹きつけ続ける、観光客は沢山来るのに税金取れない、居住者にメリットない | 都市 景観 | 守るものと変えていくものの共通認識が低い、鎌倉の魅力維持には自然との調和が不可欠 |
| 産業振興 | 法人税少ない、企業撤退 等 | 住宅 ・ 住環境 | 生活の基盤となる、長く住みたいと思える人を増やす、安心して暮らせるまちになってほしい、観光客との共存、自然災害対策 等 |
| 子育て | 若い世代が鎌倉に住んでほしい、居住を促進するためには医療保障などの充実が必要となる、共働きの多い時代だから、学童など横浜市に比べて劣るものがある 等 | 防災・ 安全 | 災害対応によって救える命があるから、自然災害の発生に備えて市民・観光客が多い鎌倉として対策が必要、近年の頻発する自然災害と市特有の地理条件（海沿い、山、崖）等 |
| みどり | 緑地や街路樹の整備が必要、倒木などにより市民の命に関わる、鎌倉らしさを守ることにつながるから | 市街 整備 | 鎌倉らしさの継承と共に新規で情勢等を踏まえたまちの形成が必要、限りある財源でコンパクトな都市構造 等 |
| 健康 ・ 福祉 | 高度医療が受けられる病院の不足、産院の不足、健康で豊かな生活が全ての市民活動の基盤となる 等 | 道路 整備 | 道路の舗装が悪い所があり快適に通行できない、道路形状によって渋滞を引き起こすこともある、優先順位づけされている？ 等 |
| 多文化 共生 | 相互理解が足りない、鎌倉市の特色、誇れる部分を伸ばしたい 等 | 総合 交通 | 観光渋滞対策、住む人も来る人も移動しやすい交通システムが必要 等 |

2

図表 X-(2)-エ-② 職員ワークショップ4回目・5回目の結果(2)

わたしたちが描く 미래の鎌倉 #職員 第5回

2 テーマ2のまとめ

5年後の施策目標を考えよう - ①選んだ分野での心配ごと

Aチーム

子育ての困りごと

通学路の安全（道が狭い、江ノ電）、障がいのある子へのサポート 教育、他市の子育て施策に見劣りがち、金銭的余裕、ひとり親世帯への支援、不妊治療の助成が少ない、出産助成金をもっと、病気になった時の託児所、保育所が足りていない、待機児童数、保育園に入れない（待機児童）、労働人口を増やしたい、公園・施設・レジャースポットが少ない、家族世帯向けの住居が見つげづらい

Bチーム

減災（レジリエンス）の困りごと

災害のタイミングが予測できない、鎌倉らしさをどう残すか、古都保存法（高さ制限）、古い建物が多く避難路の安全が心配、地理的制約（道路状況）、谷戸での倒木・土砂崩れ、倒木などが心配、緊急輸送道路の確保、支援の受入体制、観光客への周知、住民合意、避難経路等が認知されていない、全市民への広報手段

Cチーム

行政手続きの困りごと

平日に来る必要性があり仕事等を休まなければいけない、来庁日にその後の予定を立てづらい、時間がかかる・1日つぶれる、来庁者の混雑、1階ロビーが狭い、窓口毎に同じ説明を繰り返す必要がある、重複した手続きが多い、手続きの煩雑さ、それぞれの手続き毎に書類がバラバラ（同じものを複数提出しなければならない）、手続きが多岐にわたる、手続きによって窓口が変わる、たらい回しされる、多言語の対応、人への伝え方、掲示が下手、わかりづらい、HPが分かりづらい、欲しい情報が届かない

2

図表 X-(2)-エ-③ 職員ワークショップ4回目・5回目の結果(3)

わたしたちが描く 未来の鎌倉 #職員 第5回

2 テーマ2のまとめ

5年後の施策目標を考えよう - ②具体的な施策

Aチーム

- ・「子育て世帯への切れ目のない支援」(8票)
- ・「保育環境の充実」(3票)
- ・「子育てに寛容なまち」(3票)

Bチーム

- ・「興味を持ってもらえる避難訓練を実施し。」(8票)
- ・「誰も逃げ遅れないまち」(5票)
- ・「市民が観光客を導けるように」(1票)

Cチーム

- ・「来庁する前に役所に行く必要があるのかを一括して調べることができるように」(9票)
- ・「同じ情報（基本4情報等）は一度記入すれば全ての手続きで使用できるように」(4票)

3